

平成27年度第6回石狩市浜益区地域協議会議事録

日 時：平成27年10月19日（月）18：00～19：40

場 所：浜益支所庁議室

資 料：会議次第

浜益区地域協議会委員名簿

資料1

石狩市過疎地域自立促進市町村計画

資料2

黒毛和牛レトルトP.J検討会設置

資料3

厚田道の駅連絡会議

資料4

浜益区地域協議会に係る申し合わせ事項

資料5

=会議次第=

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 委員紹介
5. 会長及び副会長の選任
※休憩中 市長との意見交換
6. 職員紹介
7. 協議事項
 - 1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について
 - 2) 黒毛和牛レトルトP.J検討会設置について
8. 報告事項
 - 1) 厚田道の駅連絡会議について（進捗状況）
 - 2) 滝浜線の車両更新について
 - 3) 駐在施設建設に関する対応経過について
9. その他
10. 次期開催日程について
11. 閉会

出席者：30人（委員13名、職員12名）傍聴人：0名

委 員			職 員	
役 職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会 長	赤間 聖司	○	(本庁) 石狩市長	田岡 克介
副会長	大久保満彦	○	(支所) 支所長	佐々木政人
委 員	寺山 広司	○	(支所) 地域振興課長兼都市整備課浜益支所担当課長	木村 新吾
委 員	久慈 貞子	○	(支所) 市民福祉担当課長併任浜益生涯学習課長	開発 克久
委 員	徳地 克実	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主幹	羽立 欣一
委 員	小田 則貞	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主査	袴田 実
委 員	安保美佐子		(支所) 地域振興課地域振興担当主査兼産業振興担当主査	藤巻 誠一
委 員	三上 正信		(支所) 地域振興課地域振興担当主任兼産業振興担当主任	須田 恒
委 員	白井かの子	○	(支所) 地域おこし協力隊員	瀧 勝明
委 員	羽立 裕子	○	(支所) 地域おこし協力隊員	瀧 稔子
委 員	岸本 紀子	○	(本庁) 企画経済部企画課長	本間 孝之
委 員	川村 佳広	○	(本庁) 企画経済部企画課主幹	上窪 健一
委 員	山本 侑香	○		
委 員	石川 宗	○		
委 員	辻 力ヨ子	○		

1 開 会

【木村課長】

皆様、本日はお忙しい中お集まり頂き有難うございます。

私、当地域協議会の事務局を担当しております浜益支所地域振興課木村と申します、よろしくお願ひいたします。本日は委員改選後初めての協議会でございますので会長が選出されるまでの間、私が進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

只今より平成27年度第6回浜益区地域協議会を開催いたします。

2 委嘱状交付

【木村課長】

大変恐縮とは思いますけれど、委員委嘱状につきましては予めそれぞれの席に配布させていただいておりますのでご了承いただきます。

3 市 長 挨 拶

【木村課長】

田岡市長よりご挨拶申し上げます。

【田岡市長】

皆さんこんばんは、前の委員改選時にも同じ事を言わせていただいた記憶があるのですが、地域協議会はある意味では地域の役場といいますか、議会といいますか、相当の権限を現実に持っているという一方、予算を編成する権限がなく、最終的には市役所の玄関をくぐるという話で、具体的な話になると面倒さもかなりあるというところだと思います。

合併から10年、協議会発展の仕方が当初考えたほど機能的でないということは確かにありますが、その一方で議会側から、なんとか協議会を残して欲しい、10年を区切りで止めるのか、という質疑がありました。法的にも平成32年までは残すのはかまわないように法律案の延長を掛けました。あわせて合併特例債等の財政的な措置についても伸ばすと同時に、従来は10年経ったら全部切っちゃうよという約束で始まった合併10年間の期間ですが、実際には支所というものを潰す事を前提に国は考えていたようです。

統合という事を考えていたようですが、例えばうちの場合では、今浜益に支所がなくなると災害のときに誰がその情報をつかむのか、あるいは地域振興のことについて誰が知っている、花川にいてどうしてわかる、というように全国各地区で同じ問題を抱えました。

支所という機能は、国が考えていた以上に地域の中で必要性が高いと国の方も考え方を基本的に変えて、何でもかんでも統合せよという話とは、相当違ってきているという事も確かにあります。このことは地域協議会の役割というのを更に問われているというところだと思います。

本日、新しい委員さんの委嘱状をお渡しさせていただきました。更なる活発な議論と具体性が必要でないかと思っております。今まで様々な形での実績があるというのはすでに報告を受けており、その都度会議録も拝見させていただいております。また議会への報告なども行っておりますが、地域産業の育成という意味で、その効果が単に協議会だけの責任ではなく、市の行政も含めて全般的にピンポイントで予算措置、あるいは財源措置がなされているかという事になると、必ずしもそうではないのかというところがあつて、更なる精度の高さ、具体的な事業への積極的な投資という事は必要だと思います。

またその一方で浜益地区において最大の問題は、経常経費が非常に大きく掛かっている事です。

花川においても、厚田においても赤字という意味では非常に市税が限られておりますので、赤字体質は変わらないのですが、それでも交付税が入る、あるいは補助金が入ることによって、市は1年間に大体4億円くらいの黒字になっています。ですからその黒字のうち、浜益地区での1億数千万円という赤字は埋めて埋められない話ではないのですが、市にとっては非常に大きな負担になっている事も確かであるという事を考えますと、これから協議会の中に、少し私どもの協議会に対する説明もしっかりしていかなかったと、いうところもあると思いますが、浜益の5施設、介護の施設などについては老朽化、経常的な赤字体質などを含めて、いったいこれをどうするかという事で、今現在、直営に移し、委託業務として社会福祉協議会に担っていただきましたが、その際、民間に一度引き受けて頂こうということで民間のプランも提案させていただいたのが、地域全体の反対運動で議会も否決、私もその責任を取って給料をダウンすると、一応はけじめを付けさせて頂いて、民間導入というのを見送る事になりました。

また地方の過疎地域における医療というのは流動性を持っております。ですから恒久的な医療体制の問題、今現在では、看護師さん、いくら募集をしても来てくれないのです。浜益診療所の先生から、なんとしても看護師さんもう一人欲しいという事で、ずっと募集しているのですけれどないと、そのうちに所謂そういった専門的な職種の人に、限界がくるということで、それらも含めて浜益の地域のインフラ、ハードでなくてソフトなインフラが、段々対応できかねるという問題がおきているということも事実であります。

これらについて、市のほうの出す案をここでしっかりした議論をしていなかったという事が、実は皆さんの問題ではなくて、私どもの問題であったと、きっちとした説明と資料を提供していなかったという事だと思います。それらの問題について放置しておくわけにはいかないと考え、原案を取りまとめ中ですが、やはりプロセスの中から入っていただかないと、案がまとまってはじめて見る、ということもまずいのではないかと思っております。

デマンド交通についてですが、これは滝川への必要性、あるいは札幌へのアクセスという意味では絶対必要であるこの背骨はどんな事をしても守ると思っております。石狩市全体の公共の足を確保するということを、これもひとつの大きな課題であると思っております。

もうひとつ、災害が起きると実は私共は、平らなまちにずっと長くいた感覚があつて、合併して浜益、厚田を持つようになって、雨が降るという事について、風が吹くという事について、あるいは吹雪という事について、私はずいぶん敏感になりました。対策本部も頻繁に設置され、職員が夜まで、朝までずっと詰めるという形が定型化してきております。被害状況も先だっての災害において、象徴的なのが温泉の屋根が飛んだ事ですが、これも含めてあちこちと、そして今日になって実は学校の屋根が、これは八幡小学校の屋根ですか、登らないとわからなかつたという事が、出てきたようにまだ被害の調査が続いているという状況です。この地区においても被害が非常に多発する傾向にあります。

特に地域の水道管がどこに入っているのかよくわからない、古い図面がないといった問題など含めて、災害普及が非常に厳しい状況であります。したがって地域の皆さんたちの経験とか、確かにここにあったはずだぞ、というような情報が非常に大事になると思っておりますので、地域防災計画、あるいはそれぞの避難所の経営とか運営とについても、ぜひご尽力を賜れば大変ありがたいと思っております。

楽しい話につきましては私からより、皆さんは実に知っていると思いますが、ふるさと祭りのときに「市長、今年の花火大会は凄かったよ」と、「ぜひ来年来てくれ」そういうふうに言われました。私、久しぶりに浜益の若い人達が誇らしげに目を輝かせながら「市長、良かったぞ」と言ってくれるのを見て、本当に良かったと、その顔を見たときに、自分たちで計画し自分たちで実行して、そして多くの人の反応に喜びを感じたと思うのです。地域協議会もぜひそういったパターンで、地域の盛り上げに寄与していただければ、大変ありがたいと思っております。

この地区で残りの振興基金4、800万円というのを、どう使うかと言う事はひとつの命題だと、地域協議会で具体性を持つと非常に良いのではないかと思っております。その4、800万を例えれば赤字に埋めてしまうということになると、これは本当に悲しい話になってしまいます。私たちが一番望むのは、地域に新しい産業が起きることだと思っております。

それから厚田に造るのは、オール石狩の道の駅にしたいということで、厚田地区だけの道の駅では決してありません。浜益地区にも様々な形でその影響が出て、あるいは協力してもらわなくてはならないのですが、できるだけ厚田の協議会と密接に連絡を取り合いながら、道の駅事業についての浜益側の使い方がこれから求められると思います。

ひとつは温泉を道の駅の、別のステーション、地域のステーションとして、それを結ぶのは今のところ考えているのは自転車です。これはレンタル自転車を含めてですが、自転車で結ぶことです。札幌から入って、石狩河口橋を渡って、皆さんわかりますか五の沢地区、高岡の奥の方にあるのですが、そこに古い公民館があります。明治時代に造られた公民館があるのですが、そこに誰も住まなくなつたものですから、先日行ってみてベースが出来ないだろうかと言ったら、マラソンの人達のスタート地点、二トリの陸上部の皆さんがそこで練習するとかですね、厚田に合宿するのですけれど、そういう裏街道を使って、自転車を使ったり、陸上の選手が走ったりして、この石狩から浜益にかけては、サイクリングのメッカにいまなっております。

既存の道路を繋いでいくと、非常にお客様がたくさん来る仕掛けになると思うのですが、浜益のほうには巨大な巨木があり、それから山があるということで、スポーツを中心とした道の駅の構想も、ひとつ目の視野に入っております。海と山を持ち、そしてガルのような休憩兼食べ物を提供するところなどを含めて、この厚田、浜益、石狩をどうするかという道の駅です。道の駅はほんの一部です。ほとんどその多くが道の駅の販売部門の他に、地域インフラの中心を置こうと思っております。当然公共サービス

ですから、例えば病院を置こうと思ったら、厚田の皆さんのが病院は山の上にあると行きづらいから、今の場所でいいと、下のほうがいいと、先生も古いけど大きいから今の病院の方、自分も泊まれるからいいよと、で病院は止めたのですが、今度は訪問介護とか訪問医療というのが国の制度でスタートする事になりますので、そういうバスの拠点とか、公共サービスの拠点というものを作っていくことになると思います。それと同時に観光の拠点という形もなるというふうに思いますので、浜益と厚田という線切りではなく、厚田、浜益地区全体をカバーするサービス拠点になっていくというふうに考えていただければいいと思います。当然、浜益の漁師の方が、あるいは農業も含めた1次産業の方が道の駅の販売業に入りたいといったら、それは当然の話ですから、そのために相当前もって話し合いの中に入らなければいけない、ということを考えておりますので、ぜひこの点も、もし誤解や思い違いがあったら、質問していただきたいと思います。

私から、概括的な今日の思いと、経過を述べさせていただきました。これからも2年間、ぜひ地域のために、しいては石狩市の発展のために皆さんのお力を賜ろうという事で、どうぞよろしくお願ひします。どうもありがとうございました。

4 委員紹介

【木村課長】

次に委員の皆様に自己紹介をしていただきたいと思います。赤間委員から一言ずつお願ひ致します。

1ページ出席者委員一覧（自己紹介）

5 会長及び副会長の選任

【木村課長】

続きまして、会長、副会長の選任についてであります。どのような方法で選出したらよろしいかご意見を頂きたいと思います。どなたかご発言があればお願ひ致します。

【寺山委員】

会長に赤間聖司委員、副会長に大久保満彦委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

【木村課長】

只今、寺山委員より推薦という形で、会長には赤間聖司委員、副会長には大久保満彦委員をそれぞれ推薦するという意見が出されました。他にご意見はありませんでしょうか。

【委員多數】

ありません。

【木村課長】

それでは他に意見が無いようですので、会長には赤間聖司委員、副会長には大久保満彦委員を選出致したいと思います。よろしいでしょうか。

【出席委員全員】

はい。

【木村課長】

それでは会長に選出されました赤間会長より、ご挨拶をいただきたいと思います。

【赤間会長】

会長に選任頂きました赤間でございます。よろしくお願ひ致します。

この浜益区地域協議会も合併に伴い設置されて10年経過し、この間地域協議会の役割であります地域の意見の取りまとめ、住民との協同の推進、特色ある地域づくりの推進を基に協議を進め、一定の成果を上げてきておりますが、市の政策への反映に繋がる提言にまで至っていないのが現状ではないかと思っております。

浜益区は依然として人口の減少に歯止めがかからず、高齢化率も50%を超え、地域活力の限界や小規模集落における地域コミュニティの崩壊までもが危惧されております。このような状況の中で地域のために何が出来るのか何を成すべきかを、浜益支所と一体となって考え、取り組んで行かなければならぬと考えております。

浜益区は基幹産業であります、農漁業の振興があつてこそ地域が活性化されると考えております。近年、後継者や新規就業者が増えつつあることは、今後の農漁業の振興に明るい兆しが見え始めてきていると感じております。こうして若手が増えれば、子供増加対策にも繋がると思っております。

浜益支所と一体となって、知恵、意見、アイデアを、大久保副会長を始め委員の皆さんと力を合わせて、浜益区の地域づくりのために微力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。簡単でありますがあつたとさせていただきます。

【木村課長】

それではこれから会議を始める訳ですが、協議書第9条第2項の規定によりまして、委員の過半数の出席が必要となっておりますが、本日、委員15名中13名の出席を頂いておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、会議規則第2条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めるとなっておりますので、これから会議の進行については会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひ致します。

【赤間会長】

それでは、協議に入る前に一旦休憩いたします。

— 休憩 —

6 職員紹介

【赤間会長】

それでは会議を再開いたします。職員紹介について、事務局お願いします。

【木村課長】

職員の紹介をさせていただきます。佐々木支所長から順に自己紹介をお願い致します。

1ページ出席者職員一覧（自己紹介）

7 協議事項

【赤間会長】

いつもの地域協議会であれば、始めに報告事項の内容を説明した後、協議事項という流れになってございますが、本日の会議につきましては議事進行上、協議事項から説明させていただきます。

それでは協議事項1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について、説明をお願いします。

【上窪主幹】

1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について、資料に基づき説明いたします。

資料2 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について（説明）

【赤間会長】

只今、協議事項1) 石狩市過疎地域自立促進市町村計画について説明がありました、何かご質問等がございましたらお受けしたいと思いますので、挙手をお願い致します。

なお、発言される際には会議録作成の関係もございますので、私が指名してからお名前を述べて発言をお願いしたいと思います。何かございますか。辻委員、どうぞ。

【辻委員】

この計画は、この地域協議会でも今後検討とか議論する事があるのですか。

【赤間会長】

事務局、お願いします。

【上窪主幹】

次回以降の地域協議会でご協議をお願い致します。

【赤間会長】

次回素案という事で、これで北海道と協議はするという事ですよね。

【上窪主幹】

現在進めております。

【赤間会長】

北海道からよろしいですという事になったら、最終的に本計画になるということですね。

【上窪主幹】

北海道との協議が2段階でございまして、最初、石狩振興局との協議がございまして、今その振興局

との事前協議をしているところでございます。

そして12月に北海道本庁と協議という形で、2段階の協議になっております。

12月のパブリックコメントの後1月の確定と先ほど申しましたが、そちらの確定には北海道の協議が必要となっておりますので、その前である12月に北海道本庁との協議を完了させるものです。

【赤間会長】

よろしいですか。

【辻委員】

はい。

【赤間会長】

他にご質問ございませんか。

【委員多数】

ありません。

【赤間会長】

それではないようですので、次に協議事項2) 黒毛和牛レトルトPJ検討会設置について、説明願います。

【袴田主査】

2) 黒毛和牛レトルトPJ検討会設置について、資料に基づき説明いたします。

資料3 黒毛和牛レトルトPJ検討会設置について (説明)

【赤間会長】

只今、黒毛和牛レトルトPJ検討会設置について説明がありました、引き続き検討会を設置する事務局の提案でメンバーの選任について、何かございませんでしょうか。岸本委員、どうぞ。

【岸本委員】

会長一任でどうでしょうか。

【赤間会長】

会長一任との声がありましたが、よろしいですか。

【委員多数】

はい。

【赤間会長】

それでは、私の方からご指名いたします。寺山委員、久慈委員、岸本委員、川村委員、山本委員を指名いたしますので、よろしくお願ひ致します。

8 報 告 事 項

【赤間会長】

次の報告事項に入りたいと思います。報告事項1) 厚田道の駅連絡会議について、説明お願い致します。

【佐々木支所長】

私の方から2) 厚田道の駅連絡会議について、資料に基づき今現時点での進捗状況などについて、報告をさせていただきます。

資料4 厚田道の駅連絡会議 (説明)

【赤間会長】

只今、厚田道の駅連絡会議の報告についての説明がありました、なにかご質問等がございましたらお受けしたいと思いますので、挙手をお願い致します。ございませんか。

【委員多数】

ありません。

【赤間会長】

それでは、次に報告事項2) 滝浜線の車両更新について、説明願います。

【開発課長】

それでは、私の方から滝浜線の車両更新につきましてご報告をさせていただきます。

浜益滝川間乗合自動車運行に関する説明になりますけれども、旧車両におきましては走行距離数が今年3月末時点で22万キロという数値になってございました。この事は利用される乗客の安全確保の部分、故障等による運休リスクを回避するという視点から、車両の更新をしたところあります。9月28日から更新車両で運航を開始しております。この事につきましては、改めて地域協だよりも掲載をする予定であります。

【赤間会長】

只今、報告事項2) 滝浜線の車両更新について説明がありましたか。質問等がございますか。寺山委員、どうぞ。

【寺山委員】

利用者数と、乗っている人達の状況や用途をお聞きしたいのですが。

【開発課長】

平成26年度の運行状況ですけれども、249日間の運行日数、延べ利用者数が1,846人、1日で均しますと約7人前後が使っている計算になります。

滝川で人工透析をされる方、滝川で買い物をする方、そういった方々が利用いただいている、という事になっています。

【赤間会長】

よろしいですか。

【寺山委員】

これは何人乗りのバスですか。

【開発課長】

10人乗りでして、一人運転手ですからMAX9名ということになります。

【寺山委員】

満車状態ですか。

【開発課長】

前日に予約を受け付けますけれども、乗車人数が満杯だから乗車できませんという事は無いです。

ですから皆さん希望通りに利用されている、という事になっています。

【寺山委員】

ありがとうございます。

【赤間会長】

よろしいですか。

【寺山委員】

はい。

【赤間会長】

他にご質問ございますか。

【委員多数】

ありません。

【赤間会長】

それでは、次に報告事項3) 駐在施設建設に関する対応経過について、説明願います。

【開発課長】

引き続き私の方から、駐在施設建設に係ります今日までの対応経過について、ご報告させていただきます。

札幌北警察署におきましては、柏木及び浜益の駐在所の統廃合につきまして検討をされておりました。この部分につきましては、警察の中で様々な検討をした結果、このような方向性が今から数年前に示されておりまして、柏木駐在所の廃所を前提にした中で、浜益駐在所の移転、新設を検討しているという事になっております。この部分につきましては、合わせまして北警察署の方から地域説明に入る事、浜益支所において浜益駐在所の移転先について、市有地を含めた公有地の公募地選定という事で要請がございました。

今まで様々な打ち合わせを警察とさせていただきまして、実際建設着工に向けた具体的な協議は

昨年の8月から進んでおりまして、現在建設予定地は番地で行きますと浜益77番地6、この支所から前面の市道沿い、いま消防職員の駐車場用地になっておりますが、そこに建設しようとしております。

用地につきまして、市有地ですので、その市有地を貸与することで話をしておりまして、今後具体的な契約の精査に努めたいと思っております。協議の過程におきましては、道路の測量経費、支障木等雑木処理、除排雪、雪解け水、雨水、浄化槽の排水等、建設に係る全般的な協議を道警の技術職員と今日まで調整をしているところでありますと、聞くところによりますと11月上旬に入札をすることになります。

その着工時期等につきまして、全般的な話は11月上旬の入札後に改めて業者と調整をするということになっておりまして、その都度、警察の方とも私ども、やり取りをしてこの地域協においてよりリアルな情報を提供してまいりたいと考えております。

【赤間会長】

只今、報告事項3) 駐在施設建設に関する対応経過について説明がありましたが、質問等がございますか。辻委員、どうぞ。

【辻委員】

統廃合するという事は、お巡りさんが一人になるという事なのですか。

【開発課長】

駐在署員の体制は、警察の中で精査中との事で具体的に固まるのは、これからになると思います。駐在署員の体制につきましても、警察と協議をした中でこの協議会にご説明してまいりたいと考えております。

【赤間会長】

よろしいですか。

【辻委員】

体制が固まらないと、その建物の規模とかが変わってくるのではないかでしょうか。

【開発課長】

現時点で警察の方では、木造2階建て、建設面積約160m²程度の建物を予定しております。署員が張り付くことを前提にした造りではないかと考えております。

【赤間会長】

よろしいですか。

【辻委員】

はい。

【赤間会長】

寺山委員、どうぞ。

【寺山委員】

統廃合して、防犯だとか事件、事故時は現在2名体制が1人になった場合に、手薄になる部分は多々あると思います。事件、事故が多様化しているご時勢ですので、場所は減るかもしれないが2名体制は変える事が無い様、伝えていただきたいと思っております。

【開発課長】

私どもは、例えば結構支所からもっと山側の方に上ったところに一応造られると言う計画があります、その部分で例えば国道231号から新設される駐在施設を誘導、案内する案内板設置の要望、あるいは今の浜益、柏木の駐在所の解体時期とか、事業がどうなるのかとか、そういうことの打診はさせていただいております。

全道的な駐在所の更新の部分がございまして、こと浜益に特化した部分と言うのはなかなか難しい部分があると警察の方は言っておりますので、私どもの方もいまお話できる部分はご報告させていただきました。その都度、精度の高い情報をこの場でご説明させていただく、ということになると思います。

【赤間会長】

よろしいですか。

【寺山委員】

はい。

【赤間会長】

他にこの件について、ご質問ございますか。

9 その 他**【赤間会長】**

それではないようですので、次にその他について何かございますか。羽立委員、どうぞ。

【羽立委員】

海幸さんの向かいの公園に公衆トイレあるのを皆さんご存知でしょうか。そこには公衆トイレの表示が無いのです。ドライバーさんには判りづらくて物置みたいな感覚があると思うのですが、たくさんの方々が海幸さんにおトイレを借りに今シーズンも来ました。海幸さんでは快くどうぞという風に案内をしているのですが、折角目の前に公衆トイレがありますので、来年に向けて公衆トイレであるという表示をしっかりとしていただきたいと思います。

【赤間会長】

白井委員、どうぞ。

【白井委員】

非常ボタンを間違って押す場合も多いので、その対策もお願いします。

【木村課長】

本庁の関係部局に伝えて、調整したいと思います。

【赤間会長】

あと、その他で何かございますか。川村委員、どうぞ。

【川村委員】

質問が三つあるのですが、

一つ目に、来週ジャイカというところに研修に来る12名の外国人さんが浜益中学校に来校します。それで生徒達に「浜益の観光資源」のプレゼンをさせようと思って準備をしています。その中に庄内陣屋跡の話も出ました、「あそこに公園があって、遊歩道があったらひとつの観光資源だな」これは生徒達の拙い発想かもしれません、面白いと思っております。私も浜益村史を読んでいまして、非常に面白い歴史と思っております。

二つ目に、介護の仕事に就きたいという教え子、大人ですがいます。先ほどの市長さんの話にも、看護師募集したけれど来ないというのがあります、プライベートで教え子と話をしてみました。「介護職員募集のチラシ」を見せたら、「浜益までは行けない」とひとつのネックに住む場所が確保されているのだろうか、空き家が結構あるのだけれど、その辺の行政の絡みはわからないので、そのような話題で何かございましたら教えていただきたいと思っております。

三つ目に、浜地協だよりの先月号で「地域協議会の第5期を振り返って」という意見が纏められていました。「漁業農業商業の人達を繋いで、若い世代と奇抜な意見も含めて、出し合う会はどうなのだろうか」「規制の緩和はどうなのか」といろいろ書いてあるのですが、これらの地域協議会の今後の見通しと言うのですか、ディスカッションする場所があれば良いと思っております。

【木村課長】

診療所の看護師について住宅の確保はしているのです、ただ申し込みが無いのです。

【川村委員】

「あいどまり」の方はどうなのでしょうか。

【赤間会長】

回覧で「あいどまり」の職員募集は回っておりますが、詳細については社会福祉協議会でなければわからないと思います。

【川村委員】

応募があったとして、その人達がどこに住むのかという課題についてはどうなのでしょう。

【木村課長】

社会福祉協議会で住宅は確保していないのです。特養に勤めている方は市の職員住宅と「カーサK」に2名入っています。

【佐々木支所長】

若手の漁師の方が住むところが無いということがあって、3年ほど前に程度の良い教員住宅3件を1件500万円程かけて、リフォームをして農漁業者にという事で抽選をしたのですが、3件すべて漁師の方があたり入っています。

「あいどまり」などの有資格者（看護師等）の方が入りたいと言っても、浜益には民間のアパートは当時ありませんでしたので、柏木の「カーサK」を岸本さんで建てていただきました。4,000万円ちょっと掛かっているのですけれど、市のほうの補助金で2,000万円ちょっと入れているのです。

このような形で、目には非常に見えにくい部分もあるのかと思いますけれども、市は市なりに、例えば漁師さんを受け入れるためだと、そういうことで対応はしているのです。それで100%すべて満たされているかどうかは別としても、この数年間で市もかなりのお金を掛けてやっていると言う事はご理解いただければと思います。

アパートには教職員も住んでいますし、「あいどまり」で働いている方も実際住んでいます。

【袴田主査】

先ほど事前の説明会でもお話しましたけれども、勉強会については全体と言うのも考えたのですが、とりあえずは新規の方に勉強会というイメージで考えていました。

これから進めていく中で、事務局の方でこの皆さんから出た意見を、優先度を決めてできるところからひとつずつ、やって行きたいなと思っていますけれども、一番事務局が考えているのはやはり、農、漁、商の各青年部の方々が一堂に会して話をする場というの、今までにあまり無かったので、その辺がやはり重点になってくるのかなと思います。

このほかに自治懇話会とかもありますし、そういうときに地域協の委員さん方も出て行っていますので、この2年間の中で出来るところから、ひとつずつ消化していきたいなと思っています。

【赤間会長】

只今の説明でよろしいでしょうか。

【川村委員】

はい、要望があつたら次回から直接事務局に伺います。

フリーディスカッションみたいな場所と言うのは、アイデアが欲しいみたいな読み取りを私なりにしているのです。

教育者の立場としては、卒業した浜益を離れた子供達が戻ってくる場所が、ひとつでもふたつでも増える方向が、アイデアが見えてくればいいなというのが、学校の教師的なスタンスです。

【赤間会長】

あと、その他で何かございますか。寺山委員、どうぞ。

【寺山委員】

国道231号線で浜益区農屋から厚田区安瀬間のトンネルで、夏場に結露で滑ります。私も経験はあるのですけれど、駐在所の職員から1日3件事故が起きたと聞きました。通行止めになると周辺市町村や私どもに多大な影響を及ぼします。

こういうことは沿線住民から要望をあげていかないと直らないのでしょうか。

札幌北署からも意見は言っているらしいのですが、進み具合など分からぬので、この地域協議会でも意見としてあげさせていただきたいと思います。

【赤間会長】

国道の勉強会はやっていますよね、そのときに話題提供という形でどうでしょう。

【佐々木支所長】

警察も集まりますし道路管理者も集まりますから、その時に意見があつたと伝えておきます。

こういう勉強会を通じて実施されたのが毘砂別、群別、幌の交差点です。集落に入るとき危ないという事で地元の要望として改良、若しくは看板設置などの改善をして欲しいと、市のほうから要望していました。

そのような事もありますので、機会を捉えて開発局には要望と意見として話しておきたいと思います

【赤間会長】

他にございますか。

10 次回開催日程について

【赤間会長】

無いようですので、次回開催日程について事務局からお願ひます。

【袴田主査】

次期開催につきましては、11月11日水曜日午後6時からしたいと思います。いかがでしょうか。

【赤間会長】

只今、事務局から提案ありましたとおり、次回開催日程は11月11日水曜日午後6時からといいたします。よろしいでしょうか。

【出席委員全員】

はい。

11閉会

【赤間会長】

以上をもちまして平成27年度第6回浜益区地域協議会を閉会いたします。ご苦労様でした。

平成27年11月11日議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 赤間 聖司